

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会/陽光保育園/板橋第十小学校学童クラブ 発行日 2009年3月30日
編集「明日にむかって」編集委員会 住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

58号

3月上旬に年長児クラスの子どもたちが、午後のおやつ用のクッキーを作ってくれました。出来上がったクッキーは500枚！おやつのときに各クラスに届けていた年長さんが事務所にも届けてくれました。「いつも火事や地震のときに助けてくれてありがとう！」と言って渡してくれました。避難訓練のときに伝礼し、子どもたちの無事を確認していることを思い出したのでしょうか……。卒園していく子どもたちは、さまざまなことを考え、思いがけないことを言葉で表現してくれます。大人の姿をしっかりと見ている子どもの瞳に嘘はありません。これからも子どもたちをしっかりと守ってくださいと背中を押されたような気がします。ありがとう、年長児さん。(T・R)

地域共育講座★陽光保育園主催学習会

1月24日 陽光保育園ホール

子どもたちのまなざし

☆言葉は人間を人間にしていける／言葉は子どもの学力と自立の力

講師 土佐いく子 先生

人間関係に深くかかわる「言葉」をテーマに、長年小学校の教諭を務め、子どもたちの声に耳を傾けてきた土佐いく子先生をお迎えしてお話をうかがいました(参加者98名)。子育てしていくうえでとても参考になるよい講座になり、子どもの求めている愛と親が伝えている愛を見つめなおす機会となりました。以下、その内容を紹介します。

子どもが大人に求めていること

今、世の中に絶望した青少年による事件が多発するなかで、「子どもの心がわからない」と言われています。それはなぜなのかというお話から始まりました。大人たちに余裕がないことや、子どもに過度の期待をかけることによって、よい子を演じている子どもを苦しめているのは……ということでした。過度の期待をかけるということ、親がこうなつてほしいという願いが高いハードルとなつて、もつと下の場所であつて苦しんでいる子どもの心が見えなくなつてしまふのです。

言葉が育つとき

近頃、言葉が届かない子どもに出会うことが増えてきました。この子たちは、大人に優しい言葉をかけてもらつてきたのだらうか。自分の話を「うんうん」とうなずきながら共感して聞いてもらつてきたのだらうかと考えさせられます。

人間関係のないところに言葉はありません。大人同士の関係にも言葉がなく、人と



土佐さんのお話で入るように耳を傾ける



土佐いく子(とさ いくこ)さん

1948年徳島県生まれ。広島大学卒業後、大阪で小学校教諭を務め、退職後、大阪市立中泉尾小学校専門員、和歌山大学講師などを歴任。また、なにわ作文の会、日本作文の会、大阪はぐるま研究会などで活動。著書に「母ちゃん先生奮闘記」「子育てがおもしろくなる話」「子どもたちに表現のよろこびと生きる希望を」(以上、日本機関紙出版センター)ほか。



講演会後のサイン会でも参加者から質問せめに

人との関係が弱くなつていませんか？ト

ラブルになつたとき、なぜトラブルになつたのか……と紐といて、関係を作りなおすことのできる大人でいたいものです。そして、子どもにも人づきあいのできる子になつて欲しいと願います。人に話を聞いてもらつた子は、また新しいことを吸収したくなります。そして、人に伝えようとして、そんな生きた言葉が言葉を育て、人を育てていくのだそうです。

また、「死ぬ」「消える」などと言う子どももいます。そんな子どもたちは、実感のある言葉をしゃべつていてとは思えません。そんなとき、頭ごなしに叱るのではなく、「死ね」といふことだつたの？」と、子どもが自分の言葉で、自分の気持ちをくだけて話せるように聞いてあげたいものです。

丁寧な聞いてあげること、人との関わり方を学ぶ機会にしていきましょう。どう相手に言葉で伝えたらよいかを大人とのコミュニケーションのなかで伝えていき、嫌だと思ふ気持ちも、聞いてもらえてよかったと思ふ子どもが思ふよう、言葉に人間らし

●お話を聞いて●

☆先生のお話はとてもわかりやすく、これからの子育ても、これならやってみようかという自信も少しもたげました。(保育園児保護者)

☆思い当たる節が多すぎて苦笑い(大笑い)しました。家に帰ったら、笑顔で子どもの話を聞きたいと思つています。(保育園児保護者)

☆優しくなるために学ぼうというところが大切だと思つきました。私は、けっこんいいお母さんでした。(小学生保護者)

☆言葉を聞く大切さをわかつているつもりになって、そんなざいにして毎日反省したいです。(保育士)

☆笑いあり、涙あり、先生のお人柄にひきこまれました。自分を振り返ることができました。私も小学校の教員をしていました。こんな母ちゃんいいなは「こんな先生いいな」にもつながり、明日からがんばろうと前向きに考えることができました。短い時間でしたが、たくさん愛をもらいました。(小学校教諭)

●お話を聞いて●
☆子どもの話に共感して聞くこと、抱きしめることなど、いろいろためになる話を聞けて本当によかったです。子育てについて、何が大切か、とても考えさせられました。(学童クラブ指導員)
☆迷つたことばかりで、子育ての大変さはかりを感じていましたが、肩の力が抜け、ありのままにいられたと自信を取り戻しました。またがんばれそうです。(匿名)
☆愛されているというところを実感できる生活があれば、子どもはそれで十分に自分の力で大きく成長するのだと、改めて実感しました。(小学生・保育園児保護者)

これまでも、これからも

私も子どもを育てながら仕事をしています。我が子にやさしくしたいと思つていてもできない日が多々あり、先生の言葉が心に刺さりました。しかし最後に、「大人が学びを通して親として何を求められているか振り返る時間をもつことで、また子どもにやさしくなるのよ」と言われたことに救われ、「また、明日からやさしくしよう」と思える時間を過ごすことができました。

社会のなかの大人たち、親たちが手を結びあつて子どもたちの話をまろごと聞くことこそ、今求められていることなすね。みなさんと手を結び、努力していけたらと思つきました。(陽光保育園保育士 斉藤彩子)

陽光保育園◆創立60周年記念行事のご案内

陽光保育園は今年8月、創立60周年を迎えます。その記念行事の日程と会場が決まりましたのでお知らせします。
とき 2009年9月13日(日)
会場 午前《つどい》板橋第十小学校体育館
午後《レセプション》陽光保育園ホール



◎《つどい》《レセプション》とは……

卒園児・在園児の親子をはじめ大勢のみなさん参加型の手づくりの楽しい会を企画中です。午前の《つどい》では、歌いまくり、リズムやまりくり、くす玉割り、餅まきなどなど……、午後の《レセプション》では、来賓の方々とともに、ビールやワイン片手に、陽光保育園の歴史の紹介やアトラクションおよびみんな語り合う催しを考えています。



◎創立60周年企画実行委員募集中!

とはいうものの、まだまだ企画検討中です。卒園・在園父母、職員、理事で実行委員会をつくっています。「何か足りない」「こんなふうにしてはダメか？」などありましたら、どうぞご意見お寄せください。実行委員会にも参加していただませんか。みなさんの知恵やアイデアを持ち寄って、すてきな会にしたいと思つています。どなたでも参加できます。陽光保育園までご連絡ください。

◎『陽光保育園創立60周年記念誌』も協力者募集中!

今年度中に『60周年記念誌』の発行もめざし、現在作業中です。資料の整理、パソコンへの入力など、お手伝いいただける方を募集しています。ほかにも、これならできるなどありましたら、ぜひ参加をお願いいたします。

ごあんない

◆陽光保育園後援会・春の交流会

とき 4月29日(祝) 11時
場所 板橋区平和公園
(上板橋駅北口徒歩5分)

参加費 大人500円(新会員無料)
子ども 無料

*焼肉、焼きそばなどを作ります。皿、箸、コップ、おにぎりなどお持ちください。春の一日、おおいに食べ、語り合い、交流しましょう。

◆陽光保育園後援会総会

とき 5月29日(金) 18時30分
場所 陽光保育園ホール

*ミニ演奏会も行う予定です。
*陽光保育園を支えてくださっている後援会のみならず、一年に一度のこの機会にぜひご参加ください。

◆陽光保育園夏のバザー

とき 7月5日(日) 10時~14時
場所 陽光保育園

◆「吉永和男さん」を偲ぶ会

長年にわたり社会福祉法人陽光会の理事・監事・理事長代行を歴任された吉永和男さんが昨年急逝されました。慎んでご冥福をお祈りするとともに、「吉永和男さんを偲ぶ会」を催すことになりましたので、ご案内いたします。

日時 6月20日(土) 15時~(予定)
会場 グリーンホール2階ホール

詳しくは、陽光保育園までお問合せください。

親子でいっしょにあそぼう

2009年度

陽光保育園では、「保育園の子どもたちといっしょに遊びたい」「離乳食や子育ての相談にのってほしい」など、地域の方々のご要望にこたえ、親子で参加できる広場を月1回設けています。2009年度は、陽光保育園の子どもたちが日頃遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。固定遊具は公園に行けばありますが、公園ではできない遊びが体験できます。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。

年間スケジュール

4月23日(木)	5月14日(木)	6月18日(木)
7月9日(木)	8月20日(木)	9月17日(木)
10月15日(木)	11月19日(木)	12月16日(木)
1月14日(木)	2月18日(木)	3月11日(木)

*6月：看護師が「健康」について相談を受けます。
10月：栄養士が「食」について相談を受けます。

場所 陽光保育園
時間 午前9時30分～11時
(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児～就学前のお子さん
と、お父さん、お母さん。
発達に障害のあるお子さんも
大歓迎です。
連絡先 陽光保育園 ☎3956-1068

*タオルと着替えをご持参ください。
*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操やあやし遊びなどでゆったり過ごすと予定です。

砂遊び

園庭のすべてが砂場の陽光保育園では、年間通して砂遊びを楽しみます。水もふんだんに使い、泥んこになれるので、子どもたちは飽きることなく遊びつづけます。水や砂に触れ、子どもたちは身も心も解放されるようです。



リズム遊び



ピアノの音に合わせて、走ったり跳んだりしながら遊ぶことによつて、筋力が育ち、しなやかな身体がつくられていきます。友達と手をつないで心を通わせ、楽しさを共感できるリズム遊びが、子どもたちは大好きです。



迫力いっぱい荒馬座の荒馬踊り(下)とぶちあわせ太鼓(左上)。南京玉すだれに子どもたちは大喜び(左下)

民族歌舞団「荒馬座」ミニ公演を開きました
2月26日、陽光保育園のホールで開かれた荒馬座ミニ公演。毎年恒例となったこの公演に、今年は近隣の大山西町保育園、わかたけ保育園の年長クラスの子ともたちも招待し、「ぶちあわせ太鼓」や「ソーラン節」「荒馬踊り」などの演目を、おおいに楽しみました。「荒馬踊り」ではとくに「ラッセラー、ラッセラー」のかけ声に子どもたちも大きな声で合わせ、陽光保育園のホールいっぱいにその声が響き渡りました。

お父さんの出番です!!

ウッシッシィ〜ももちゃん

普段、仕事で帰りが遅いので、いつも後ろめたいパパですが、休みの日は、ももちゃんとかくパパや神経衰弱をやって遊びます。

パパやキをやる時、ももちゃんは、「ぜったいまけないじょ」と言っているももちゃんもきだして、カードを配りジョーカーが自分の方になると、

いちいち、そのカードを目立つようにして私にひかせようとします。私は心の中で「ももちゃん、それみえみえだよ」と思いつつも、そのカードをやむなくひいてあげます。すると、「うっしっし」と高笑い。そして、「パパは、ももちゃんに勝てないねえ」と、嬉しそうに上から視線を送ります。

そんな空気が読める私とは逆に、ママといえ、ももちゃん相手でも本気、KY、大人げないことこのうえありません。我が子相手であろうと容赦はしません。泣くまで徹底的に負かします。そして、不機嫌になったももちゃんのご機嫌を回復させる役回りでも再度登場するのが負けの私です。実際、神経衰弱をやると本当に負けることも度々で、こどもの記憶力の凄さにはビックリです。

その神経衰弱で、何度かももちゃんが勝ち続けると、泣きはらした顔に素敵な笑顔が戻ります。そして、再び、「パパはももちゃんに勝てないねえ、うっしっし」と言っている上から視線。こうして我が家の平和と秩序は保たれています。

(4歳児クラス・百香の父 三津田昭宏)

一時保育

ようこうほいくえんの

◆こんなときご利用ください
・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護・保護者の傷病・被災・出産・冠婚葬祭など。保護者の子育て不安・リフレッシュなど
・育児相談、健康診断等でお子さんが保育園での保育が必要と認められたとき

◆利用日・利用時間など
・月曜日～金曜日の9時～17時(土・日・祝日・年末年始休) 1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。ただし、板橋区発行「すくすくカード」利用の方は生後10か月から。一日1時間～8時間。ご希望の時間帯で利用できます。
◆お申し込み・お問合せ
直接陽光保育園へ。
(受付時間10時～17時)
緊急時以外は、なるべく利用される10日前までに申し込んでください。
・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問合せください。

◎寄付のご協力ありがとうございます(2009年1月1日～3月15日)
浅羽正二、榎本恵美子、吉永利恵、小川恵美子

◎社会福祉法人陽光会・建設財政連絡会より
2008年度の寄付金と財政活動収益(物品販売他)の内訳は、以下のとおりです。今年度もたくさんの方に支えられ、バザー等財政活動ができ、借入金も順調に返済できました。みなさまのご協力が心から感謝いたします。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

・寄付金(22件)	316,000円
・陽光保育園父母の会、職員:陽光Tシャツ販売	383,500
物品販売(キムチ、カレンダー等)	101,780
・職員:「リズム講習」への講師派遣(9回)	245,700
・「平和盆踊り」への出店収益	10,000
・陽光保育園父母の会:人形劇収益、共同購入	229,505
・陽光保育園後援会:「大城松健チャリティギターコンサート」収益	50,000
・陽光会:チャリティコンサート「馬頭琴の夕べ」の収益	75,283
合計	1,411,768円

◎寄付のお願い(1口5000円/何口でもけっこうです)

下記口座に振り込みお願いいたします。

郵便振替口座番号 00140-0-260468 口座名 陽光保育園建設委員会

*寄付金控除の対象になります。領収書が必要な方はお書き添えください。

極寒のシベリアに抑留されて5年……

中町伸智



私は今から70年近く前に、以前は日本の領土であった樺太の軍隊に勤務していた。日本が戦争に負け、ソ連の軍隊が南下して来て、日本軍は武装解除された。その後1カ月ほどしてソ連の船に乗せられ、沿海州の「ソワガニ」というところまで連行され、ソ連の囚人たちが収容されているのと同じ丸太造りの家屋に入れられた。

そこで丸5年の歳月を、冬は零下40度という寒さの中、セメントなどの荷物運搬、針葉樹の伐採、斜面に穴を掘り爆破する鉄道のプラットフォーム造り、左官など、ろくに休息もなく働かされた。身体の不調と食料の貧弱により、病人はもとより死者も続出し、明日をも知れぬ我が身となりつつあるのを覚悟しなければならぬ状態になったが、幸いにも私は20代で若かったために助かったのだ。栄養失調でいわゆる鳥目になり、一人で暗いところに行けない年配者も出始め、私たち若い者が手を貸してトイレに連れていったりしたことが、今いちばん思い出される。

このような悲惨な状態は、抑留1年目の10月から3月の雪解けまでの期間が最もひどく、多くの命が失われた。通訳は一人いたものの言葉が通じにくく、双方とも相手への不信感がつた。ソ連側の捕虜への接触の態度は真に不信極まるものがあった。

一方、地域的に限定されていたかもしれないが、ソ連国内の生活の実感を述べてみると……、極寒の地で捕虜たち皆の食料を得るためと称して、私と山口県出身のH君、岩手県出身のM君と3人で原住民の家に泊まらせてもらい、1週間ほどその家を根城に生魚を獲ろうと頑張ったことがある。原住民はギリヤーク族かオロチョン族と思うが、モンゴル族とも似ているところがあるようで、当時は彼らを「土人」といった。彼らは年寄りを敬い、船なども自分たちで造る暮らしだった。魚の成果はあがらずだったが、人間の考えはみな似通っていることを確信できたのは貴重な体験だった。

原住民たちはみな一様に「おまえたちはいつ日本に帰るのか」と聞いてきた。彼らが石鱈を欲しがると知っていたので、そこを引き揚げるときには手持ちの石鱈を全部くれてやった。

ナホトカから明優丸で舞鶴に帰る途中、船の厨房から肉のうまい匂いがしてきて、私の五臓六腑を駆けめぐった。(豊島区在住/90歳)